



国立成育医療研究センター  
生体防御系内科部感染症科 医長/感染防御対策室 室長

MIYAIRI Isao 宮入 烈

# 専門医から 若手ドクターへ の提言

# CAREER

## 子どもの生命力に魅了され 小児科医の道へ

私にとって医師は、手塚治虫の漫画「ブラック・ジャック」による影響もあり、子どもの頃から憧れの存在でした。また、子どもの時分に身近な医師像といえば、やはり自身がかかる近所の小児科医ですので、将来自分がめざす職業として小児科医を漠然と意識していたように思います。

医学生になって小児科を専攻したきっかけは、小児科の臨床実習で入院中の子どもたちの生命力を目の当

たりにし、「小児科医療には光と影があるが、光の部分にはどこまでも青い空が広がっている」—そんなイメージや可能性を感じたからです。小児科は病気の治療に加え、健康な子どもが健康な大人になるまでの成長過程を支えるという役目もあります。わが国の医療制度下で小児科医療が置かれている環境は厳しいけれども、自分がかかわることで子どもが伸びていく感覚に魅力を感じ、小児科医になることを決めました。